

「コープみらい サステナビリティレポート2018」

発行にあたって

本レポートを手にとっていただき、ありがとうございます。

2017年度も引き続き、コープみらいの「ビジョン2025」および方向性を同じくする「SDGs (持続可能な開発目標)」の実現に向けて、組合員一人ひとりの暮らしに貢献するとともに、持続可能な社会につながる多様な取り組みを進めてきました。

日本の米づくりを支える「産直 お米育ち豚」の取り組みは、フードチェーンの連携・協力のもと多くの組合員に支持をいただき、年間の生産量は8万頭を超え飼料として与えた米は約2,000トンに上りました。おかげさまで今年は販売から10周年を迎えます。このようなエシカル(倫理的)な消費行動が、お米育ち豚などの多様な取り組みや商品を通じて広がっています。

子どもたちの未来のために、返済不要の奨学金給付事業の開始に向けた準備をコープみらい社会活動財団を中心に進めました。2018年度より、毎月お寄せいただく組合員応援サポーターの募金から高校一年生110名を対象に、奨学金の給付を開始します。

太陽光や木質バイオマスなど再生可能エネルギーの創出と調達に取り組み、未来にやさしい電気を選べる電気小売事業「コープデリでんき」を開始しました。再生可能エネルギーで発電した電気の割合や使用状況をお知らせし、地球温暖化防止へつながる電気、原子力発電にたよらない電気として組合員の利用を広げています。

私たちは、これからも助け合いの組織として「誰一人取り残さない、持続可能な社会」につながる事業と活動を進めるとともに、地域行政や諸団体などとの連携をより強めてまいります。そして、一人でも多くの方に「コープみらいのファンよ」と言っていただけよう“食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協”を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



理事長
新井
ちとせ

コープみらいのステークホルダー

対象期間

対象範囲

発行年月

組合員・消費者、職員、お取引先、地域社会、未来社会

特に断りの無い限り2017年度(2017年3月21日～2018年3月20日)のものですが、一部2018年度の活動も含んでいます。

コープみらいの活動を中心に報告していますが、コープデリグループ(35頁参照)全体で行っている活動についても記述します。また、グループとしての取り組みでは、コープみらいの取り組みだけ(数字を含む)を表現できない場合もあります。

前回2017年8月 今回2018年7月 次回2019年7月予定